

令和6年度提示平均価額（案）の概要＜畑＞

資料 7-1

1 提示平均価額（案）の特徴

小川村、上松町において低価格帯の畑が地目変換により減少となったことを主な要因として平均価額が上昇（前年度比：1.024倍、1.020倍）したこと、富士見町において標準地の単価を下方修正したことを主な要因として平均価額が下落（前年度比：0.972倍）したことを除くと、前年度に比較して、大きな変動はありません（前年度比：0.972～1.024倍）。
 これは地価が下落傾向にある中、評価額が売買実例価額を下回っているため、評価額を据え置いていることによります（全国的な取扱い）。

2 提示平均価額（案）の変動割合順

順位	区分 市町村名	令和6年度 提示平均価額 （案） C（円/千㎡）	令和5年度 平均価額 F（円/千㎡）	変動割合 C/F（倍）
1	小川村	44,453	43,416	1.024 ↑
2	上松町	31,077	30,471	1.020 ↑
3	須坂市	55,626	55,321	1.006 ↑
∴				
75	栄村	13,292	13,341	0.996 ↓
75	下諏訪町	48,771	48,981	0.996 ↓
77	富士見町	31,846	32,747	0.972 ↓

（主な理由）
【小川村、上松町、須坂市】 価格の低い畑が地目変換で減少したことによる増
【栄村】 価格の高い畑が非課税地成りで減少したことによる減
【下諏訪町】 価格の高い畑が地目変換で減少したことによる減
【富士見町】 標準地の単価を下方修正したことによる減

3 総評価見込額の変動割合順

順位	区分 市町村名	令和6年度 A（千円）	令和5年度 D（千円）	変動割合 A/D（倍）
1	南牧村	386,088	382,686	1.009 ↑
2	飯山市	690,089	688,476	1.002 ↑
3	原村	236,142	235,690	1.002 ↑
∴				
75	松本市	1,380,932	1,401,863	0.985 ↓
76	中野市	1,208,363	1,235,232	0.978 ↓
77	富士見町	220,207	226,996	0.970 ↓

（主な理由）
【南牧村】 価格の高い畑が課税地成りで増加したことによる増
【飯山市、原村】 価格の高い畑が地目変換で増加したことによる増
【松本市、中野市】 価格の低い畑が地目変換で減少したことによる減
【富士見町】 上記2に同じ

4 総地積の変動割合順

順位	区分 市町村名	令和6年度 B（㎡）	令和5年度 E（㎡）	変動割合 B/E（倍）
1	南牧村	14,803,207	14,667,941	1.009 ↑
2	飯山市	16,072,125	16,032,024	1.003 ↑
3	原村	6,171,814	6,159,517	1.002 ↑
∴				
75	中野市	22,872,559	23,394,585	0.978 ↓
76	小川村	1,901,156	1,949,666	0.975 ↓
77	上松町	1,330,697	1,376,833	0.966 ↓

（主な理由）
【南牧村、飯山市、原村】 上記3に同じ
【中野市】 上記3に同じ
【小川村、上松町】 上記2に同じ